

加藤紫舟 （加藤） 俳人。明治二十七年八月二十九日福島縣生れ、昭和十五年十一月五日歿（九十一歳）。本名中庸。早稲田大學商學部卒。長谷川零餘子（俳筆）の師事し、俳誌『枯野』同人。師歿後、昭和二年『黎明』創刊主宰。別號黎明居。詩人加藤郁子の父。

著書『俳句二十講』（黎明居紫舟名、昭和八年十月二日上海泰文堂）、

『森林』（同、昭和八年二月二日緑人會）、『芭蕉夜話』（同、昭和

八年十一月二日二鈴社）、『俳句藝術論』（昭和十年七月五日雄山

閣）、句集『感懐のつむぎ』（昭和

十二年一月十八日民族社）、『黎明

俳句集』黎明十年記念版』（合著、

昭和十二年四月二日黎明發行所）、

『黎明俳句選集』（選、昭和十四年

七月十日黎明發行所）、『句句』表

はれ六芭蕉人間學』（昭和十五年六月十日日本出版峯文社）、句集

『會津』（昭和十六年五月二十五日黎明發行所）、『葦村の心』これ

こ』（昭和十七年一月二十五日日本出版峯文社）、『田中總長追想

録』（本名、編、昭和二十一年十一月二十一日故田中總長追想録並傳

記編纂堂）、句集『光陰』（昭和二十

五年八月二十五日松尾書房）松尾文

庫』等。

